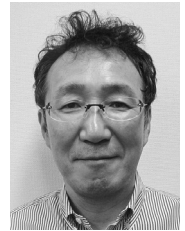


令和5年度放射線安全取扱部会年次大会 年次大会へのお誘い



令和5年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員長 原 正憲

令和5年度放射線安全取扱部会年次大会（第64回放射線管理研修会）を令和5年10月26日（木）、27日（金）に富山国際会議場（富山県富山市大手町1番2号）にて開催します。中部支部が担当する年次大会は、平成27年度の金沢市での大会以来、今回の富山市での大会となります。

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの大会の開催が続いておりましたが、今回は対面での開催とします。新型コロナウイルス感染症の流行により、好むと好まざるとに関わらず「放射線管理」、「安全取扱の継承」に多くの変化があったことと思います。一方で、このおかげで進んだ良い変化もあったのではないのでしょうか。本年度の年次大会のテーマは「未来へつなげる放射線管理」です。様々な制約が緩和されていくなかで、放射線取扱に従事される方が増え、放射線を適切に利用し、そこから成果が生まれていく。このような放射線利用の環境を考える大会になればと思っています。

大会1日目は、3つの特別講演とポスター発表を行います。最初の特別講演として毎年恒例の原子力規制庁による「最近の放射線安全規制の動向について（仮）」についてのお話をさせていただきます。放射線測定の信頼性確保の義務化が施行された後の講演となりますので、施行後の規制の動向に関する情報収集の機会となると思います。

2つ目の特別講演は、持続的な放射線利用において問題となる廃棄物に関する特別講演を日本アイソトープ協会の千葉晋平氏、鈴木健二氏より「日本アイソトープ協会における廃棄事業の現状」について講演いただきます。毎年、放射性廃棄物をアイソトープ協会に引き渡すのですが、筆者は渡して終わりまで思考停止していたように思います。協会より廃棄事業の現状を聞くことで、持続的な放射性同位体の使用について考える機会となると思います。

3つ目の特別講演は、東京大学宇宙線研究所の竹

田敦氏より「宇宙天体素粒子研究における放射線利用」についての講演をしていただきます。宇宙天体素粒子研究に放射線が貢献していると聞くとワクワクします。ひと時、帳簿からはなれて、宇宙天体素粒子と放射線についての講演を楽しみませんか。

ポスター発表と機器展示は会場（メインホール）中央入口の左右にあるホワイエで行います。参加者の方が立ち寄りやすく、発表者の方の成果を多くの方に見ていただけるレイアウトになっております。久しぶりの対面でのポスター発表です。発表者の方、参加者の方共に活発な意見交換を楽しんでいただければと思います。

大会2日目は、2つのシンポジウムを行います。シンポジウムの1つ目は「未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム（ANEC）を活用した放射線人材育成の取り組み」についてです。放射線に知識を持つ人材の育成への最新の取り組みについてのシンポジウムです。具体的な活動内容は施設での人材教育に有用なアイデアをもたらすものと思います。

2つ目のシンポジウムは「準備完了!?! 信頼性確保に向けた予防規程変更と機器の点検・校正」がトピックです。10月に施行された放射線測定器の信頼性確保における他の施設の予防規程の変更事例、点検・校正の実務的アイデアのご紹介をいただきます。施行から間もない時点での、事例紹介は法令に対応する施設管理に有用な知見を与えるものと思います。

最後に、日本海と北アルプスに挟まれた富山市は、天気が変わりやすく、雨の日も多いのが特徴です。年次大会への出発前に、富山市の天気予報を確認いただければと思います。

富山市で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

（富山大学 学術研究部 理学系）